

国土交通省が管理する天神川の区間において水災害発生前に防災関係の多機関が連携しながら、迅速かつ効果的に防災行動をとることを目的としたタイムライン（防災行動計画）の検討を昨年から進め、「天神川水害タイムライン」が完成しました。コロナウイルス感染症対策のため完成式は開催しませんでした。倉吉河川国道事務所長から流域の市町へ完成報告を行いました。

天神川水害タイムライン構成機関

【座長】

鳥取大学大学院 工学研究科 教授 三輪 浩

【構成機関】

流域市町（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町）、中国電力（株）、鳥取ガス（株）、西日本電信電話（株）、公共交通機関（JR、バス会社）、マスコミ、鳥取県、警察、消防局、自衛隊、鳥取地方气象台、国土交通省

報告日時

※報告順に記載

- ・倉吉市：令和2年5月27日 10:00～
- ・湯梨浜町：令和2年5月27日 11:30～
- ・三朝町：令和2年5月27日 13:30～
- ・北栄町：令和2年5月27日 15:15～

天神川水害タイムラインの特徴

天神川の水害特性を踏まえ、以下の観点に着目したタイムラインを作成しました。

- 急流河川であり、水位上昇速度が速いため、各警戒レベルに対応する作業項目を短時間で実施しなければならない可能性がある。
- 洪水時の天神川の河川水位は周辺の地盤より高い特徴があり、一度氾濫するとその影響は、広範囲に及ぶ可能性がある。

首長からのことば

- ・近年、西日本豪雨を始め大きな災害が相次いでおり、どこで起こってもおかしくない。いかに人命を守るかが重要。
- ・今回のTLは時系列で示され分かりやすく、防災の見える化をもらった。
- ・指針とし有効活用し、市民の安全安心に取り組みたい。



倉吉市 石田市長

- ・H30.7豪雨の経験で、避難勧告等の発令の判断をするのは難しく、所長のアドバイスは参考になった。
- ・TLのような時系列を整理した資料はなかった。今回のTLは町の責任者としてありがたい。
- ・TLを活かし町の人々の安全安心に取り組みたい。



三朝町 松浦町長

- ・他の機関の横の動きも分かり良い。
- ・H30.7豪雨の際には上流の雨の状況を見て判断した。
- ・天神川での災害（破堤等）に備え、お互い連携を密にしたい。



湯梨浜町 宮脇町長

- ・約1年間かけての作成ありがとうございます。
- ・各機関の動きが分かりやすくまとめてあり助かる。
- ・これを参考に関係機関と連携したい。



北栄町 松本町長